

家賃債務保証のジェイリース 「フォーブスアジア」のベスト200社に選出

家賃債務保証事業を展開しているジェイリース(東京都新宿区)は今年8月、アメリカの経済誌「Forbes」のアジア版「Forbes Asia」が毎年行っている「Forbes 200 Best Under A Billion」の2025年版に選出された。同社が選出されるのは、昨年に続き2年連続となる。

ジェイリースは2017年から、事業用の家賃保証プラン「J-AKINAI」(ジェイアキナイ)を展開。オフィス・店舗をはじめ、倉庫、工場、貸地などの用途に幅広く対応。保証限度額は月額総賃料の24カ月分。これは共益費や管理費、変動費(水道光熱費)、原状回復工事費、解約予告通知義務の違約金、明け渡し訴訟費用、賃貸借更新費および更

新事務手数料なども限度額の範囲内であると無制限に保証できる。手厚い保証内容と、東証プライム上場といった財政状況による安心感、安全なども強みに、不動産オーナーから好まれて選出された「Forbes Asia's 200 Best Under A Billion」は、年間売上高10億ドル未満の売上高10億ドル未満のアジア・太平洋地域の

上場企業2万社超の中から、売上高・利益・成長率などの「定量的指標」と、経営品質や革新性といった「定性的評価」で審査され、これらの結果を踏まえたうえで、毎年優れた企業200社を選出している。今年もジェイリースを含む、日本企業25社が選出された。26年版にも選出を目指し、引き続き定量的指標と定性的評価の両面を高めていく。

福岡兼糟屋郡で区画整理事業 東急不動産などが業務代行予定者に

東急不動産(東京都渋谷区)、西松建設(東京都港区)、九州旅客鉄道(福岡市博多区)で構成する共同企業体は、粕屋町仲原東地区区画整理事業準備委員会と志免町別府土地地区画整理事業準備委員会との間で業務代行予定者基本協定を締結し、「(仮称)粕屋町仲原東・志免町別府土地地区画整理事業」の業務代行予定者に選定されたと発表した。

事業の計画地は、福岡県糟屋郡粕屋町仲原東地区の約28・3haと福岡県糟屋郡志免町別府地区約3・9haの計32・2haのエリア。同共同企業体は、この開発用地に賑わい施設、商業、住宅、産業、農業の融合による価値を生み出す街の創出をはじめ、再生可能エネルギーと先進テクノロジーを軸としたエリアマネジメントによる高

付加価値な街の創造、コンテンツの融合により一歩先の魅力を生み出す街の実現を目指す計画を提案。今後は、準備委員会、粕屋町仲原東・志免町別府土地権者、各種関係者と協力の上、当共同企業体としての専門的な知識、豊富な経験・ノウハウを発揮しながら、魅力的なまちづくりに貢献できるよう取り組んでいくとしている。

「JAPANDI」がコンセプトのリノベ住宅発売 1960年竣工のマンションの一室を改装

「ゼロリノベ」を展開するgroove agent(東京都港区)は、リノベーション住宅「THE JAPANDI HOME」を販売開始したと発表。この「JAPANDI HOME」は「Japandinese(日本の)」「Scandinavian(北欧の)」を掛け合わせた造語。スウェーデン出身の

「JAPANDI」は「Japandinese(日本の)」「Scandinavian(北欧の)」を掛け合わせた造語。スウェーデン出身の



DIYクリエイター
アントン・ウォルマン氏

ks. 日本にセカンドハウスが欲しいという人などを想定している。すでに28件の内覧の申し込みがあり、アントン氏が配信するSNSに惹かれた人からの問い合わせが多い。もともとは1部屋だった洋間をダイニング、寝室、和室に間取りを変更。またキッチンもダイニングと対面になるように移動させ、奥の空いたスペースはウォークインクローゼットにした。特徴は大きな丸窓と、腰をかけてくつろげるヌックを備えた小上がりの和室。丸窓か

「(仮称)大田区蒲田5丁目計画」着工
ホテルを核とする13階建て複合施設

JALUX(東京都港区)、安田不動産(東京都千代田区)、京浜急行電鉄(横浜市西区)の3社は、「大田区蒲田5丁目計画」に着工する。竣工は2027年12月の予定。立地はJR・東急「蒲田」駅東口から徒歩2分、京急「京急蒲田」駅から徒歩7分の場所に位置する。同ビルは敷地面積1736・53㎡、延床面積9017・35㎡、鉄骨造地上13階建ての複合施設。1・2階には飲食店や物販店などの店舗・商業施設を計画している。

3階はビジネスやインバウンド需要などの中長期滞在に対応するサービスアパートメント。客室数は15室で、洗面台、浴室やキッチン、家電などを完備。4・13階には京急グループが運営するホテル「京急EXイン」で、客室数は237室を予定する。

コラム

「築古ビルにおける再生のヒント」

第15回

タチヨリ
代表取締役
甲賀 太一

「活かす」発想が今、あらためて問われている。東京23区のおフィスビルの平均築年数は約34年。だが、築古ビルは決して過去の遺産ではない。むしろ、時代の変化を柔軟に取り込みながら、次の価値を生み出す土壌であると捉え直すことができる。

世界的に見てもフレキシブルなオフィス市場は急速に拡大している。Fortune Business Insightsによると、2023年に約347億ドルだったフレキシブルオフィスの市場規模は、2030年には約967億ドルへと約3倍に成長する見通しだ。その背景にあるのは、働く場所の概念が劇的に変わりつつある現実だ。固定された空間よりも、必要な時に、必要なだけ、その時代においては、変



国土交通省が掲げる「不動産ビジョン2030」では、新築から既存ストックの最適活用へと、日本の不動産産業が大きく転換すべき時期であると明示されている。人口減少、DXの進展、そして働き方の多様化。これらが同時進行する中で、「建て替える」よりも「活かす」発想が今、あらためて問われている。東京23区のおフィスビルの平均築年数は約34年。だが、築古ビルは決して過去の遺産ではない。むしろ、時代の変化を柔軟に取り込みながら、次の価値を生み出す土壌であると捉え直すことができる。

世界的に見てもフレキシブルなオフィス市場は急速に拡大している。Fortune Business Insightsによると、2023年に約347億ドルだったフレキシブルオフィスの市場規模は、2030年には約967億ドルへと約3倍に成長する見通しだ。その背景にあるのは、働く場所の概念が劇的に変わりつつある現実だ。固定された空間よりも、必要な時に、必要なだけ、その時代においては、変

【執筆者プロフィール】

国公立大学卒業後、不動産事業等を展開する中川特殊鋼株式会社に入社し、法人営業等を担当。その後、株式会社リクルートへ入社し、自社の新卒採用面接官に抜擢される。グローバルな環境で活躍したいと思い、社内公用語が英語の人材系ベンチャー企業に入社。前例のないスキームの発案から実行まで携わり、新規売上累計1億円を創出。2020年1月31日にタチヨリ株式会社を設立。Vision「スタートアップ支援を通じ、再び日本に活気を」Mission「セットアップオフィスをもっと手軽に」



▶R加工で広く使える



▶機能的なキッチンスペース